



Title	職場・業務紹介 附属植物園
Author(s)	永谷, 工
Citation	北海道大学農学部技術部研究・技術報告, 4, 21-21
Issue Date	1997-03
Doc URL	http://hdl.handle.net/2115/35338
Type	bulletin (article)
File Information	4_p21.pdf



[Instructions for use](#)

附属植物園 永谷 工

職場紹介

植物園は広さ13万3000平方メートル。ほぼ一辺が400メートルの正方形をし、4000種の植物を栽培管理しています。本学の職員、学生は入園無料なので訪れた方も多いと思います。

仕事内容

今年度は育成温室とバラ園を中心に園内全体の作業を研修をかねて手伝うという形となりました。その内容を季節を追いながら紹介していこうと思います。

[開園準備] 1996年度の業務は除雪から始まりました。昨年度は皆さんご存じのと通りの豪雪でしたため。園内には4月になっても大量の雪が残っており。例年の開園日であるみどりの日(4月29日)までにせめて通路だけは雪のない状態にしようと、連日雪割りに励みました。

[バラ園] 雪が解けると。折れたり枯れたりした枝を除去し、バラを全体的に短く刈り込んでしまいます。暖かくなると新芽が伸びてくるので樹形を考えながら剪定していかなければなりません。これをおろそかにすると形が悪くなったり、丈が高くなり過ぎて倒伏したりしてしまうからです。また、新芽にはアブラムシがつきやすいので薬剤散布も欠かせません。初夏、花が咲き始めると今度は散った花弁や残った花柄を取り除く必要がでてきます。残った花柄はただでさえ見苦しいものですが、今年は天候が悪かったためか蕾のまま枯れたり、腐ったりするものも少なく、これが残っていると不気味でさえあるので週に一度は剪定もかねて花柄取りを行いました。

[植え替え] 鉢に植えた植物は数年もたつと根が成長し過ぎて根づまりを起こすため植え替えねばなりません。植物園にある鉢植えの植物は温室内の鉢植え、高山展示棚の鉢植え、盆栽および一般公開されていない育成中のものがあります。すべて合わせるとかなりの数に上り、またこの作業はどうしても人の手に頼るしかなく、さらに植物によっては慎重に植え替えなければ枯れてしまうものもあり、なかなか大変な仕事です。植え替え用の土は腐葉土、火山礫等を適当な比率で混合して作るのですが、土の粒の大きさも大切ですから、土を篩にかけて粒の大きさによってあらかじめ数段階に分別しておくという仕事も必要でした。

[その他] ライラックの花柄取りと剪定、アカエゾマツの新芽摘み、植物園周囲の樹木の枝落とし、生け垣の刈り込み、温室のガラスの清掃といった作業がありました。

今後の抱負

今年は人にいわれたまま動くだけでしたが、来年からは自分で考えて計画を立て、仕事をしていきたいと思っています。また、入園客の質問に答えられるよう知識を深めていきたいと思っています。